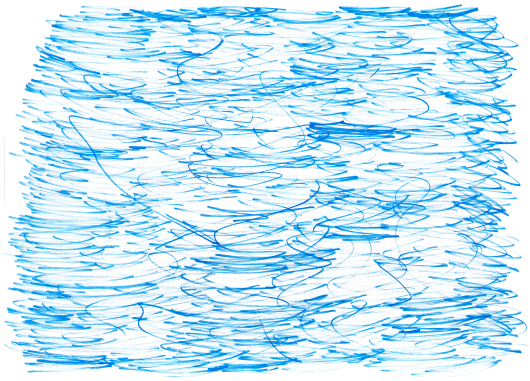


題字＆イラスト　サンだいち班

おひさま通信

No.　338

2018年　3月号

社会福祉法人みぬま福祉会
川口太陽の家・アトリエ輪

川口太陽の家
〒333-0831 川口市木曽呂１３７４
kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-294-0955　FAX 048-294-4458

川口太陽の家・工房「集」
〒333-0831 川口市木曽呂１４４５
kobo-syu@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-290-7355　FAX 048-290-7356
http://kobo-syu.com

アトリエ輪
〒333-0831 川口市木曽呂８９－４
TEL 048-299-9156　FAX 048-299-9157

オレンヂホーム
〒333-0831 川口市木曽呂２４９－１
TEL 048-298-1796　FAX 048-298-1796

各事業所の詳しい様子はみぬま福祉会公式ホームページをご覧ください。
http://minuma-hukushikai.com

みぬま福祉会

サンだいち作品展

今年度もサンだいち班の作品展が３月５日から３月１０日まで工房集のギャラリーで開催されました。昨年に続き２回目という事で仲間も職員もちょっと安心。期待と不安と緊張に包まれてはいましたが、落ち着いて自信を持って過ごすことができました。

今回のサンだいち展では「継続してサンだいちの表現を伝えたい」という思いと今年度の様々なサンだいち「変化」を伝えたいと思いが大きなテーマでした。じつは今年１年色々な変化がサンだいちにはありました。良い変化、想像以上の変化、嬉しい変化、中には期待とは異なる変化や心配してしまう変化など様々でしたが「今のサンだいち」をカッコよく展示してもらえた作品展だと思っています。

私達はウエスの仕事を軸に活動してきました。ウエスで培った自信を胸に表現活動に挑戦してきました。表現を本格的に始めて早９年。当時、誰もいなかった作業室の机には、現在、数名の仲間がイスに座って表現をしています。自分らしく活動に参加できるようになった仲間や自分がやりたい表現に出会う事ができた仲間が増えてきました。そして、手を動かしていないし、絵を描いているわけでもないけど、なんだか楽しそうにしている仲間がいるのです。毎日の積み重ねが大きなパワーとなり、サンだいちの作業室を幸せな空間にさせてくれているように感じます。

仲間の店番は出来る限り参加できるよう計画を立てました。自分の作品をジーと見ている仲間や自分のグッズが販売されている事に嬉しがっている仲間がいました。自分が評価されるという思いは格別なのでしょう。サンだいちの仲間の表情は充実感でいっぱいです。最後に、今回のサンだいち展の為に多くの方にご協力を頂きました。そして、来場された方々に応援してもらう事も出来ました。みなさんありがとうございました。これからもサンだいち班らしい表現を追求していきたいと思っています。

（サンだいち　高橋実）

トークイベント

三月五日～三月十日の期間で、サンだいち展が開催され、その最終日の三月十日に、トークイベントが開かれました。当日はたくさんの方にご来場いただき、とてもいい雰囲気でトークイベントが行われました。

松本総合施設長、キュレーターの中津川さん、それに加えてサンだいちの職員(高橋、森田、柿沼)五名で、サンだいちの日々の活動、仲間たちの様子等お話をさせていただきました。

今までサンだいちが表現活動を続けてきたことで、少しずつ仲間たちの様子が変化してきたことを話しました。

ある仲間は、表現活動の時間になっても、作業室で横になっているか、作業室にいないことがほとんどでした。そんな彼の現在の姿は、表現活動の時間になると、他の仲間が活動していることをなんとなく感じながら、何かをするわけではないのですが、活動している他の仲間たちと同じ空間に座り、自分なりに表現活動に参加していることが多くなりました。

また、大人数で賑やかな作業室に入って来ることがなかなかできなかった仲間もいました。今では表現活動の時間になると、廊下から活動している他の仲間たちの様子を見ながら、自分が呼ばれるのを待っています。名前を呼ぶと、嬉しそうに作業室に入ってきて、筆を手に持ち、サッと線を描きます。すぐに作業室から出て行ってしまうのですが、また声をかければ嬉しそうに作業室に入ってきます。

このように、仲間一人ひとりが、その人なりに表現活動に参加をし、楽しんでいる様子が増えてきたことをすごく嬉しく感じています。

日によっては、何もできない日もあります。それも含めてサンだいちでは表現活動の時間と考えています。

太陽の実践と、アートはかけ離れたようなイメージがありましたが、今回のトークイベントに参加をしてみて、その二つが少し繋がった気がしました。

私はトークイベントへの参加は今回が初めてでした。たくさんの方たちを前に、自分なりにサンだいちが大切にしてきたことをお伝え出来たと思っています。これからも、日々の仲間たちの様子や作品の変化を楽しみながら、一緒に活動していきたいと思いました。

（サンだいち　柿沼透）

陽だまりの中より・・・・

～今月の各班の想い～

じゅうに

じゅうに班の打ち上げは、浦和ロイヤルパインズホテルの高級中華料理店へ外食に行きました。オーダーバイキングなので皆それぞれ好きなものを注文し、普段とは一味違う中華料理を堪能していました。石井さんは肉まんじゅうと甘い系のデザートをパクパクと。はっきりと「おいしー！」を連呼していました。櫻井さんも小南さんも料理にニッコリと…。今年度新しく２名の仲間を迎えてスタートしたじゅうに班。１年間たくさんの楽しい思い出を積み重ねることが出来ました。（仙田）

サンだいち

‘今年度もお疲れさまでした！’という事で、サンだいちも打ち上げに行ってきました。今回は、二つのチームに分けて行い、浦和美園にある和食店にいて来ました。サンだいちでは年を通して少ない外食ですが、待ち遠しく待っていました。その分、どちらのチームも穏やかでとてもいい表情を浮かびながら美味しくいただきました。今回の打ち上げは、前回と比べて、部屋に入るのが苦手な仲間もスムーズに入り、座って食べることが出来て良かったともいます。次回の打ち上げも楽しみです。（安）

めーべ

３月１５日に今年度最後の打ち上げで、東武動物公園に行って来ました。動物見学チームと乗り物チームに分かれ、それぞれ楽しみました。動物チームは、のんびり園内をめぐりながら動物を見学。乗り物チームは、てんとう虫のジェットコースターに乗る仲間や、ゴーカートを楽しむ仲間と各々楽しむことができました。てんとう虫のジェットコースターは、子供向けという割に、かなり怖くて安全バーにしがみついていたり、キャーキャー声をあげていました。ゴーカートも左右にぶつかりながら、何とかゴールしていました。大花粉に負けず！？とっても楽しい１日になりました！（渡邊）

あおぞら

今年の３月は真冬の寒さというよりだいぶ暖かく、久しぶりに散歩と公園掃除の活動をしました。散歩は３チームに分かれて、しっかり歩くチームもあればゆっくり歩くチームとそれぞれの散歩を楽しんでいました。公園掃除は雨の予報も当たらず、久々の掃除に励んでいました。

今年度最後の日は全体打ち上げでした。あおぞら班のイケメンたちがばっちりヘアスタイルで参加していました。パラパラダンスで盛りあげたり、素敵な着物を来てコントをしたり、みんな楽しんでいました。

とある仲間の近況。ファッションに目覚めたらしく、「今日の組み合わせどうですか？」と出会う職員に聞いて回っています。目覚めたばかりなので、こちらもイケメンになっていくのが楽しみです。笑（園部）

きらっと

先日、きらっと班で今年度最後となる打ち上げを行いました。前回、好評だったバイキング形式の食事を今回も楽しみたいという意見から今回もバイキング形式での食事会を実施しました。「ピザ」、「寿司」、「オードブル各種」、「鉄板での焼肉」、「スイーツ」などなどドリンクバーも設置して大いに盛り上がることが出来ました。

来年度はどんな打ち上げになるのでしょうか…

（沖山）

青年隊

みんなでグループにわかれてそれぞれの意見が言えるようにしました。意見が言えて楽しくなり、話しやすいのでとてもよかったです。お弁当のなかみをみんなで話し合って決めて、安心して緊張もなくなると自分は思いました。他の仲間たちも良かったんじゃないかと言っていました。意見が言えるようになるのは大事なのでうれしかったです。

（白田）

オレンヂホーム

３ 月に入り花粉症の仲間たちにとってもきつい季節になってきました。何人かの仲間とも通院して花粉症の薬をもらったりしている事も増えてます。

暖かかったり寒かったりが繰り返す季節で「今日は寒くなりそうだから、ジャンパー来ていこ～」等天気も気にしながら過ごしています。花粉がきつい仲間もいますが、４ 月になれば桜。桜といえば花見です。毎年恒例のライオンズクラブとの花見は仲間も楽しみにしています。麗らかな春の陽気が待ち遠しいですね。（小野田）

授産報告（３月）

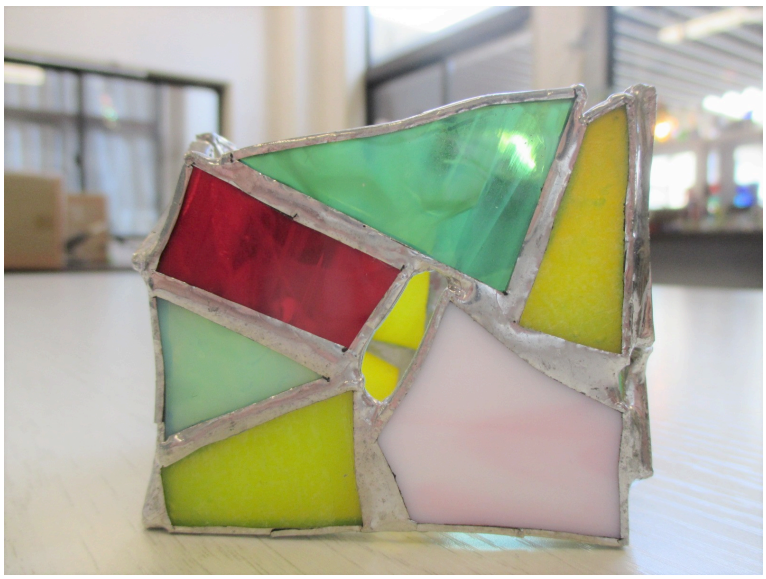
＜収入＞

種目	金額	摘要
ウエス	6,500	
織り	15,175	
絵画	464,980	
詩	0	
古本・古着	3,230	
粘土製品	9,375	
ステンドグラス	157,630	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	1,050	
牛乳パック	14,400	
その他	25,903	
給与の為、通帳からの繰入	0	
前月からの繰越	169,780	
合計	868,023	

＜支出＞

項目	金額	摘要
賃金	319,734	
賞与	0	
材料費	0	
経費	4,898	
その他	0	
通帳への繰入	543,391	
作品展準備金	0	
合計	868,023	

～今月の新作～



FU ホルダー

早船和也（あおぞら）

４月　予定表

		施設	法人・後援会			施設	法人・後援会
1	日	内部論議期間 3/30～4/3		16	月		
2	月			17	火		AM 後援会役員会
3	火	入所式		18	水		
4	水	新年度スタート		19	木		
5	木			20	金		
6	金			21	土	クラブ	
7	土	休み		22	日		
8	日			23	月		
9	月			24	火	家族会	
10	火			25	水		
11	水			26	木		暮らしの場駅頭募金
12	木			27	金	半日、PM 職員会議	
13	金	半日、PM 職員会議		28	土	休み	
14	土	クラブ		29	日		
15	日			30	月		

施設長より

いつの間にか平昌冬季オリンピックも終わり、厳しい冬の寒さも終わりを告げ、桜の花が咲き春の訪れを感じています。そんな 3 月のある日曜日の朝、自分の携帯電話が鳴った。電話の主は、埼玉県障害者協議会事務局長の国松さん。寝ぼけまなこで話を聞くと、どうやらこの機関紙「おひさま通信」が埼玉県障害者団体機関紙コンクールで最優秀賞を取ったので、今から授賞式に参加できないかとの事…。あまりに突然の連絡にびっくりしながらも、久々の休みで今日は一日何もしないでゆっくり過ごすと思っていたため、授賞式には残念ながら参加はできませんでしたが、この「おひさま通信」が受賞されて嬉しさを感じています。

受賞の理由は、内容もさることながらカラー印刷でレイアウトも良く見やすいとの事でしたが、この「おひさま通信」は今号でなんと 338 号を迎え、発行部数は 1000 部を超えます。川口太陽の家が開所してから 30 数年、途中合併号になる時もありましたが、ほぼ毎月発行してきました。おそらく、施設の機関紙が 300 号を超えているものは全国を探してもなかなかないと思います。

月末に原稿の締め切りを守らない職員に優しく声を掛けるのが施設長の仕事…でしたが、最近は、逆に施設長の原稿はいつできますかと言われることもしばしば。この受賞を誇りに思い、さらなる良い紙面作りを目指し、今後も継続して発行していきたいと思います。（川口太陽の家：黒田）

～後援会からのお知らせ～

【今後の予定】

・三役会	４／１０	川口太陽の家	１０：３０～
・役員会	４／１７	川口太陽の家	１０：３０～
・学習運動	／	川口太陽の家	１３：００～
・広報部（企画）	４／５	川口太陽の家	１０：３０～
・事業部	４／１０	川口太陽の家	１０：３０～
・コンサート	４／４	川口太陽の家	１０：３０～
・カフェ	４／１６	川口太陽の家	１０：３０～

・ふれあいの森祭り…５月１３日（日）
・後援会総会　　…６月６日（水）　交流センター

＜インフォメーション＞

【作品展】

・「みぬま　寄せ集む」展

会場：創作フレンチレストラン楽の蔵
会期：4 月 5 日（木）～4 月 24 日（火）11:00～18:00
定休日：11 日（水）17 日（火）18 日（水）
ポーチやバッグ、ステンドグラスなどのグッズと作品の展示です。

・「JAGDA つながりの展覧会 Part1 マスキングテープ」

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ（ミッドタウンタワー５F）
会期：3 月 16 日（金）4 月 22 日（日）11:00～19:00　入場無料
マスキングテープ展示販売：佐々木華絵、大倉史子

【人事】

・竹田正冬さん（サンだいち班）
　　→埼葛北障害者生活支援センターたいよう
・志村桂子さん（あおぞら班）→きらっと班

色鉛筆(^・^)／

先日、長野県軽井沢に行ってきました。今年は例年以上に雪が降っているので、軽井沢もたくさん雪があるのかなと思いましたが、残念、ほとんど無い状況でした。それでも、気温は氷点下マイナス２度、車窓からの景色には真っ白な浅間山が綺麗に映っていました。目的だった、春日温泉に到着しゆっくり露天風呂に入り、ぽかぽか、お肌つるつるで日頃の疲れをとることが出来ました。（きらっと：赤羽）

こんにちは。去年 11 月から川口太陽の家に配属となった、‘安相洙（アン　サンス）’と申します。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私は韓国籍の外国人です。外国で住もうとすると大きな覚悟をしないと中々できないのですが、気づいたらいつの間にか、私も外国で暮らしていました。初めて日本の事を接したのは、中学１年生の冬休みに一週間だけ行う校長先生の特別な授業があって、初めて平仮名や、あいさつを学びました。その後は特に授業がなかったので頭から消えていましたが、高校の頃、友達のお勧めで日本のドラマを見ることになりました。とても面白かったので、高校２年の時に日本語とドイツ語の選択授業がありましたが、日本語を選択して夢中になっていました。そこから日本に行ってみたい夢が芽生えました。実家は田舎で裕福ではなかったので、海外に行く事は大変大きなことでした。また、そのまま日本語は勉強しなくなっていましたが、大学２年の時、海外でホームステイ研修を受けることが出来て、１年間北海道にある牧場で勉強させていただきました。この様なきっかけが重なって、日本で働いてみたいと思い、大学を卒業して、兵役を終えて、直ちに日本に向かいました。いつの間に、８年が経ち、今に至ります。日本の文化は面白くて興味がありますので、皆さん、これからも色々教えてください！　(サンだいち：安相洙)

普段ぼーっとした生活を送っていますが、不思議と自分の周りであり得ないことが起きます。先日の大雪の日、バス通勤で来た帰り道。バス停には何人かの先客がおり、電光掲示にはあと〇〇分後に到着予定の表示が。寒い中待っていると、すぐにバスがやってきました。並んでいた先頭の人は、なぜか乗り込みませんでした。それ以降の人は乗り込み、運転手さんに〇〇行きますか？と数人が聞いていました。私と同じ普段はバスを使わず雪のためにバス通勤に切り替えた人なのかなと、あまり気にも留めずに座席で出発を待っていました。出発をして交差点を曲がると運転手さんが「あっ、しまった」と。その後、「このバスを回送にするので、戻りますね」でも、道が渋滞していたので、さらに「すみません、ここで降りてもらっていいですか」と、道の途中で降ろされました。その後、雪道をしぶしぶと先ほどのバス停まで戻ると、先頭の人はまだ次のバスを待っていました。このバスは一体何だったのか真相は謎です。最後に、今年度で異動になりました。次の不思議な事を求め新たな所へ、ありがとうございました。

（サンだいち：竹田）

＜おひさま編集委員＞黒田、大川、小嶋、津畑、鳥原、熊木、宮本ゆ